

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当	毎年3月31日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネット ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

公告方法	電子公告 当社ホームページ (http://www.kk-mitsuboshi.co.jp) ただし、事甚その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載する方法を行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)
証券コード	5820

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



ホームページアドレス <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>



ユニバーサルデザイン (UD) の
考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。





企業理念

三ツ星は「誠意・熱意・創意」を基本姿勢とし、
品質・価格・物流の最適化を図り、
お客様により高い価値を提供してまいります。

電線事業

素材を究めた信頼性で 業界トップシェアを獲得

多彩な製品ラインナップ。あらゆる現場のニーズに対応します。
キャブタイヤケーブルをはじめとする各種電線は、天然ゴム・合成ゴム・プラスチックなどを主原料としています。三ツ星では、これら素材の特性を最大限に引き出し、つねに高品質な製品を生産し続け、多くのお客様より高い信頼を獲得してきました。これからも製品ラインナップを豊富に取り揃えることで、あらゆる現場でのニーズに対応。過酷な用途に耐え、作業の効率化や安全性、省コスト化に貢献できる製品づくりを目指します。

ポリマテック事業

お客様との共同開発で高付加価値製品を創造

ポリマテック事業部門ではお客様からの商品企画について、その構想段階から製品設計、試作等の共同開発を行い、製品を納入するという受注生産を基本としてお客様と共に歩む姿勢を貫いています。
主製品としては建築用ガスケット類・手摺り・配線カバー・幅木などで、施工性の良さと品質面等で高い評価を得ています。
また、環境対応というテーマからプラスチック廃材の再生利用にも力を入れ取り組んでおり、社会的貢献の面からもその役割は重要なもので、更なる取り組みを推進しています。



電熱線事業

電熱線分野で開発した高度の品質と技術を保有 高品質の製品とサービスを提供いたします

電熱線・抵抗線で線径0.04mmまでの極細線を量産製造し、品質面および技術面でお客から高い評価をいただいております。さらに、お客様のニーズに応えるため、0.02mmまでの極細線の製造も可能にしました。また、伸線および圧延のコア技術を多角的に展開し、モリブデン帯の製造やハステロイ、インコネル、インコロイといった高機能材料の伸線・圧延等にも積極的に取り組んでいます。



株主の皆様へ

To Our Stockholders

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第71期第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 塚本聡一郎



■ 事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、緩やかな回復が続いています。

個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっているものの、消費者マインドは持ち直しに足踏みがみられます。

一方、海外経済については、米国は今後も回復が続くと見込まれますが、金融政策正常化に向けた動きの影響、原油価格下落の影響などに留意する必要があります。欧州は景気が緩やかに回復しています。

中国では、景気は緩やかに減速しており、先行きについては各種政策効果もあり、安定的な成長は維持されるものと見込まれますが、不動産価格や金融市場等によっては、景気が下振れするリスクを抱えています。

当社グループに関連する経営環境につきましては、公共投資が総じて弱い動きになっており、設備投資については総じて持ち直しの動きがみられるものの、前向きな設備投資がどこまで持続するのか不透明な点が懸念材料としてあります。

その結果、売上高は4,785百万円(前年同期比3.4%増)、利益面につきましては、ポリマテック事業および電熱線事業ともに前年同期比営業損失が減少した結果、グループ全体での営業利益は90百万円(前年同期比31.1%増)、経常利益は87百万円(前年同期比77.3%増)、また親会社株主に帰属する四半期純利益は64百万円(前年同期比62.9%増)となりました。

財務ハイライト

Financial Highlights

売上高



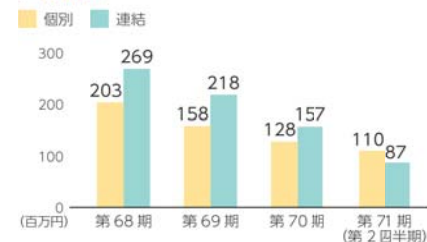
ポリマテック事業および電熱線事業においては減収となったものの、電線事業で増収となったため、グループ全体では前年同期に比べ増収となりました。

営業利益



電線事業では減益となりましたが、ポリマテック事業および電熱線事業において損失額が減少したため、グループ全体では前年同期に比べ増益となりました。

経常利益



ポリマテック事業および電熱線事業の業績が改善したことならびに為替差損が為替差益に転じたことから、前年同期に比べ増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



経常利益の増益に伴い、前年同期に比べ増益となりました。

事業別の概況

Segment Information

電線事業



売上高の推移



商品紹介

業界トップシェアを誇る 【キャブタイヤケーブル】

600V以下の移動用電気機器、配線等に使用されるキャブタイヤケーブルを主製品とし、その他多目的産業用キャブタイヤケーブル、溶接用ケーブルなど、産業用電線なら三ツ星という定評をいただいております。

当第2四半期連結累計期間の活動報告

当事業の主要な市場である建設・電販向けの売上は、設備投資の増加を背景に、ゴム電線、プラスチック電線ともに前年同期比増加基調で推移し、売上高は3,239百万円と増加しました。
利益面につきましては、円安による海外子会社の業績悪化に伴い、営業利益は97百万円となりました。

ポリマテック事業



売上高の推移



商品紹介

オフィスから暮らしまで、幅広いニーズと市場住宅建材からOA機器分野、産業資材分野まで、省コスト仕上げの高品質により高い評価を得ています。木材複合樹脂やプラスチック廃材を再生利用した製品は、これからの環境対応というテーマからも注目されています。

当第2四半期連結累計期間の活動報告

当事業は、住宅着工件数は持ち直しの動きがみられますが、依然として厳しい市場環境であることから、売上高は1,197百万円と微減となりました。
利益面につきましては、生産性の改善およびコスト削減の取り組みの結果、営業損失2百万円となりました。

電熱線事業



売上高の推移



商品紹介

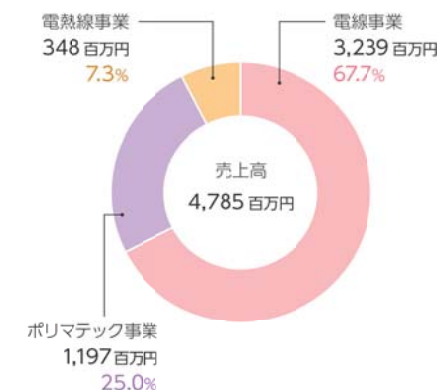
伸線・圧延技術力を活用した事業展開

どこの家庭にもあるヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫、テレビといった家電製品向け製品の他、自動車のシガレットライターや高圧ケーブル、電子機器向けの製品を開発するなど、幅広い分野での活用が期待されます。

当第2四半期連結累計期間の活動報告

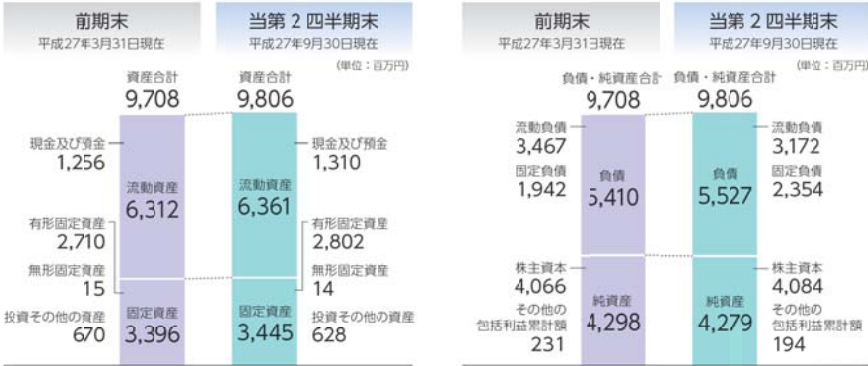
当事業は、前年度において海外商社筋から地金価格の上昇を見越したニッケル系銅線の受注が増加したことによる反動減に加え、中国経済の減速による影響を受けたことから輸出向けの受注が減少し売上高は348百万円となりました。
利益面では、原材料値上がりなどのコストアップ分を販売価格へ転嫁するよう努めるとともに経費削減に取り組みましたが、6月以降地金価格が急落したことにより営業損失3百万円となりました。

■売上高構成比

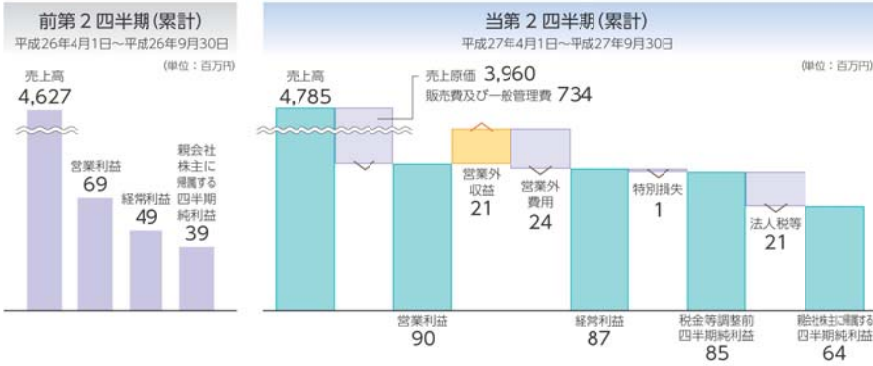


連結財務諸表

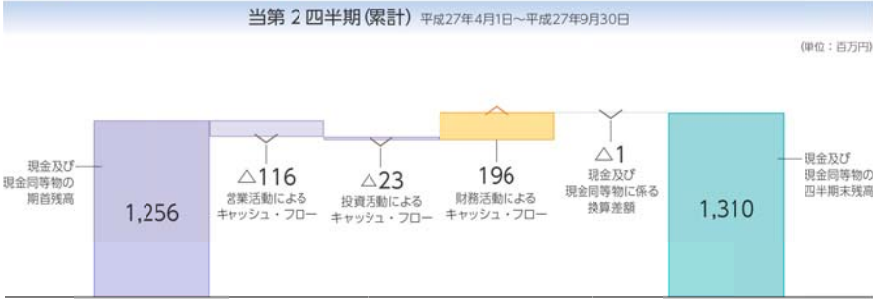
■ 連結貸借対照表



■ 連結損益計算書



■ 連結キャッシュ・フロー計算書



ポイント解説

- 総資産額
前期末に比べ、98百万円増加し、98億6百万円となりました。
これは主に、受取手形及び売掛金の増加があったことによるものです。
- 負債総額
前期末に比べ、1億17百万円増加し、55億27百万円となりました。
これは主に、長期借入金の増加があったことによるものです。
- 純資産総額
前期末に比べ、18百万円減少し、42億79百万円となりました。
これは主に、その他有価証券評価差額金の減少があったことによるものです。

株式の状況／会社概要

Stock Information / Corporate Profile

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

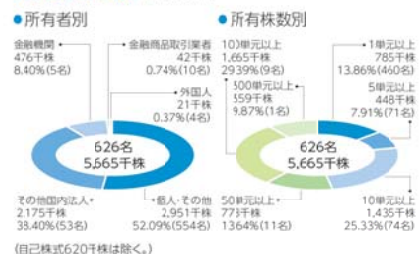
- 発行可能株式総数 19,000,000株
- 発行済株式の総数 5,712,628株
(自己株式620,648株を除く。)

- 株主数 827名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ツカモト	559,000	9.78
スリースター有限会社	463,150	8.11
加藤清行	214,000	3.75
株式会社三菱東京UFJ銀行	200,750	3.51
津田電線株式会社	193,261	3.38
三井住友信託銀行株式会社	147,000	2.57
阿部須美子	125,000	2.19
西崎ひとみ	115,229	2.02
三ツ星従業員持株会	108,425	1.90
三京化成株式会社	100,000	1.75

(注) 1. 上記のほか、当社が自己株式620,648株を保有しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況 (単元株以上)



主要な事業内容

当社グループは、次の製品の製造・販売および仕入商品の販売を行っております。

事業部門	主 要 品 目
電線事業	天然ゴムキャブタイヤケーブル、合成ゴムキャブタイヤケーブル、架橋ポリエチレンケーブル、溶接用ケーブル、制御用ケーブル、プラスチックキャブタイヤケーブル、プラスチックコード、その他
ポリマテック事業	プラスチック押出成形品、射出成形品、真空成形品、高機能チューブ、LED関連商品、その他
電熱線事業	電熱線・電線、その他

役員 (平成27年9月30日現在)

代表取締役社長	塚本 聡一郎	執行役員	岡 橋 一 明
取締役会長(兼副会長)	塚本 洋 一	執行役員	金城 安 弘
専務取締役	競 良 一	執行役員	松 山 元
取締役(社外)	村 角 末 義	執行役員	片 岡 潤 次
常勤監査役	辻 田 光 博		
監査役(社外)	中 尾 巧		
監査役(社外)	辻 義 夫		

従業員の状況(当社グループ) (平成27年9月30日現在)

229名(114名)

従業員数は就業人員であり、パートおよび嘱託社員は()内に6ヶ月間の平均人員を外数で記載しております。

ネットワーク

Network



主要な事業所

当社

本 社 〒543-0001
大阪市天王寺区上本町五丁目3番16号
TEL 06(6762)6953(代表)

大 阪 営 業 所 〒543-0001
大阪市天王寺区上本町五丁目3番16号
(電線事業部) TEL 06(6762)6931(代表)
(ポリマテック事業部) TEL 06(6762)6934(代表)

東 京 営 業 所 〒271-0068
千葉県松戸市古ヶ崎二丁目3207-2
(電線事業部) TEL 047(360)2821(代表)
(ポリマテック事業部) TEL 047(360)2901(代表)

九 州 営 業 所 〒815-0081
福岡市南区那の川一丁目9番19号
TEL 092(526)2615(代表)

仙 台 営 業 所 〒983-0044
仙台市宮城野区宮千代三丁目5番12号
桜木ビル1階
TEL 022(239)1271(代表)

名 古 屋 営 業 所 〒465-0095
名古屋市中区東高辻1-253
一社プラザ4階402号室
TEL 052(760)4636(代表)

滋 賀 工 場 〒520-3306
滋賀県甲賀市甲南町柑子1061-3
TEL 0748(86)6104(代表)

羽 曳 野 工 場 〒583-0867
大阪府羽曳野市河原城534番地
TEL 072(939)4561(代表)

シルバー鋼機株式会社

本 社 〒140-0014
東京都品川区大井1-42-2 シルバービル
TEL 03(3773)9481(代表)

MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION

(フィリピン共和国) LOT11 BLOCK12 FIRST CAVITE INDUSTRIAL ESTATE
BRGY.LANGKAAN,DASMARINAS
CAVITE,PHILIPPINES4114